

意見書に対するご回答をいただき、役員会で検討しました。

ご回答からはお答えいただきたい回答がありませんでした。本当に残念に思います。

「意見書」という表記がこのようなご回答の原因と思われましたので再び質問書として問い合わせをいたします。

総会の決議を経ていきますので、理事長をはじめとする学院執行部に誠実なご回答をお願いいたします。

## 質問

- 1、我々同窓生は、母校を誇りとし大切に思う気持ちで意見書を提出しました。その気持ちはご理解いただけましたか。
- 2、宛て先を理事会、評議員各位といたしました。理事会及び評議員の皆様と共有して頂いた上での回答でしょうか（議事録の開示もお願いします）。
- 3、中高大で教職員の解雇が続く、その効力が争われた裁判では学院側が敗訴しています。その結果について理事会及び評議員委員会ではどのように総括しているのですか。
- 4、元々無償であった理事報酬が定められました。一方で人事評価により給与減額があった教職員がいると聞いています。理事報酬のあり方、教員に対する人事評価のあり方について、どのようなお考えなのでしょうか。
- 5、学院の工事も終盤になっています。工事が理由で「アルス梅光」が中断されました。地域に文化貢献をする大学の役割という観点からその再開の道筋はどうなりますか。
- 6、2022年度より日本文学専攻の募集が停止されました。理事会はどのような経緯でこの決定をされたのでしょうか（議論経過を示す資料の開示もお願いします）。
- 7、理事・評議員に同窓会推薦の卒業生を選出するのが長年の慣例でした。再三の再考のお願いに答えて頂けないのはなぜでしょうか。速やかに同窓会推薦の卒業生を選出するよう求めます。
- 8、独立・中立性が担保された第三者委員会を設置することが、今の梅光には必要と考えます。設置の方向で進めるよう、改めて求めます。
- 9、この数年、同窓会との協力連携が果たされていないと考えます。非協力や排斥ではなく対話が必要です。できるだけ早く話し合いを実施していただけないか。都合の良い日時を提示して下さい。